

プレゼンテーション(二) (2単位)

担当者氏名 宮本 太・浅野房世・小川 博・大石孝雄・林 良博・山口裕文・安藤元一・土田あさみ・増田宏司・佐々木 剛・三井裕樹

◆学習・教育目標

修士論文等の研究の成果を教員の指導の下で取りまとめ、口頭やポスターなどにより関連学会等において発表し、質疑応答を経験する。この経験を下に学術発表のみならず社会生活におけるプレゼンテーション能力を養う。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

野生動物学 伴侶動物学 植物共生学 人間植物関係学
動物介在療法学 植物介在療法学 プレゼンテーション

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	講義の進め方	本講義の意義、進め方のガイダンス	指導内容と時間、指導への対応等について記録した月報を作成しておく。 学会発表の講演要旨、大会プログラムの写しおよび質疑内容等を記録する
2	発表内容の検討 (1)	研究成果を精査し、公表する内容を決定、発表内容	
3	発表内容の検討 (2)	の概要をまとめる	
4	学会の選定	公表する内容にふさわしい学会を選定する	
5	学会への登録	学会の規約や公示を確認し、発表の登録を行う	
6	講演要旨の執筆	学会の規約に則り講演要旨を作成する	
7	プレゼンテーションの作成 (1)	図、表、写真、動画等の準備	
8	プレゼンテーションの作成 (2)	パソコンソフトを用いた図表等の作成	
9	プレゼンテーションの作成 (3)	スライド (プレゼンテーション) の作成	
10	プレゼンテーションの作成 (4)	発表原稿の作成	
11	プレゼンテーション技術 (1)	発表の予行練習、質疑応答	
12	プレゼンテーション技術 (2)	発表の予行練習、質疑応答	
13	発表 (1)	学会に参加し発表	
14	発表 (2)	発表および講演要旨に関する反省点の確認	
15	総括	報告書の作成	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）
 適宜、必要に応じて支持する/ / ()

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）
 バイオセラピー学入門（講談社）/ / ()

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト）

上記の指導を 15 時間以上受け、筆頭発表者として口頭またはポスター発表した場合に単位を認定する。

◆その他受講上の注意事項

教員の指導と指導に対する対応等の記録を月報として提出し、承認を受けること。
 発表は原則、日本学術振興会に認められた学会とする。